

2012年2月7日

各 位

株 式 会 社 大 京

環境省主催の「省エネ・照明デザインアワード2011」 「まち、地区、その他部門 優秀事例」を受賞 — 「ライオンズ苦楽園グランフォート」 —

株式会社大京（東京都渋谷区、社長：山口 陽）は、環境省が主催した「省エネ・照明デザインアワード2011」（まち、地区、その他部門）に「ライオンズ苦楽園グランフォート」（兵庫県西宮市）を応募していましたが、2月2日に、環境省より「省エネ・照明デザインアワード2011」の受賞者が発表され、「ライオンズ苦楽園グランフォート」が「まち、地区、その他部門 優秀事例」を受賞しましたので、お知らせいたします。

「ライオンズ苦楽園グランフォート」が「まち、地区、その他施設部門 優秀事例」に選考された理由は、「太陽光発電やLED照明を多彩に組み合わせ、環境の変化を体感できる省CO2マンション」であることが評価されたものです。

■ 「ライオンズ苦楽園グランフォート」について

「ライオンズ苦楽園グランフォート」（兵庫県西宮市、総戸数47戸、地下1階・地上6階建て）は、国土交通省の「平成22年度（第1回）住宅・建築物省CO2先導事業」に新築分譲マンションでは全国で唯一採択され、また、西宮市における集合住宅および大京では初となる『CASBEE評価「S」』（最高ランク）認証を取得した環境配慮型マンションで、2011年12月20日に竣工いたしました。

また、自然の恵みを生かす取り組みとして、太陽光発電システム、屋上緑化・遮熱塗装、ミスト散布・壁面緑化、グリーンカーテンフック、保水ブロック、可動日除けルーバーなどを採用、環境負荷を抑える取り組みとして、エネルックPLUS、エコジョーズ、Low-E複層ガラス、水回りの節水設備、LED照明、サーモバス、電気自動車充電設備、ノンフロン断熱材などを採用しております。

<物件概要>

- ・所在地：兵庫県西宮市樋之池町6番5
- ・交通：阪急甲陽線「苦楽園口」駅徒歩8分、阪急神戸線「夙川」駅徒歩15分
- ・地域・地区：第一種住居地域、第3種高度地区
- ・敷地面積：1,979.30㎡（建築確認対象敷地面積）
- ・建築面積：1,091.03㎡
- ・構造・規模：鉄筋コンクリート造、地下1階・地上6階建て
- ・総戸数：47戸（住戸）
- ・間取り：2LDK～4LDK
- ・専有床面積：58.55㎡～113.30㎡
- ・竣工日：2011年12月20日
- ・事業主：株式会社大京
- ・設計・監理：株式会社日建ハウジングシステム
- ・施工：大末建設株式会社

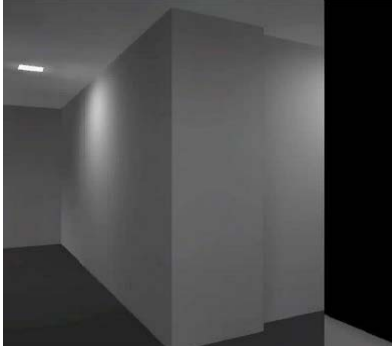
■省エネ型の照明導入施設の様子および反応

太陽光発電とLED照明、Feu理論による照明計画による消費電力の削減

太陽光発電（9.9Kw）により、日中共用照明（LED）の電力の一部を賄い、約20%電力量削減。
 人感センサーおよび自動点滅器による点灯制御。
 電力使用量**64%**、CO2排出量**10,379 t-CO₂/年**削減。

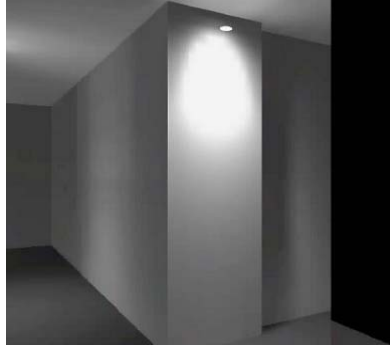
Feu理論による共用廊下の照明計画の検討

A) 従来仕様（FCL30W）



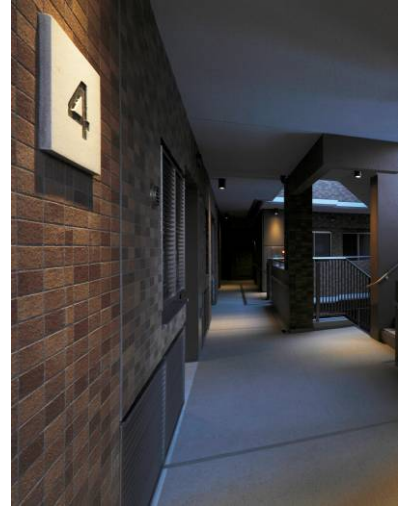
平均照度：28.4LX
 Feu 値：2.92
 共用照明の年間電力使用量
 34.098 KWH/年

B) LED 照明（指標 Feu）



平均照度：34.0LX
 Feu 値：3.23
 共用照明の年間電力使用量
 15.396 KWH/年

完成写真



環境の変化を体感できる省CO2マンションに相応しいエントランス

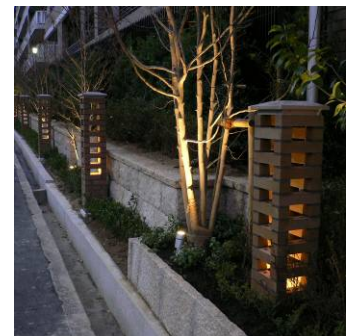
ミスト散布設備のある中庭からの空気の流れに呼応した天井のドット照明とコーブ照明、
 温度によって色が変わる中庭照明
 ガリレオの温度計が入ったショーケースや船舶用温湿度計・バロメーター等、環境への
 関心を自然に意識づけられるようにデザインされた空間とコーニス照明



エントランスホール



エコギャラリー



外構 煉瓦灯籠

専用部のLEDによる照明計画

専用部内のイニシャル設置の照明は全てLEDにより計画。
玄関、トイレにおいて人感センサーでの点灯制御を併用する。
電力使用量**75%**、CO2排出量**17.163 t-CO₂/年**削減。

飾り棚を効果的に照らし寛ぎの空間を演出したリビングルーム（オプション提案）



光源(昼白色と電球色)の切り替えにより、シーン別に使い分けられるオリジナル照明「キレイライト」装備のドレッサー。お出かけ先のシーンに合わせてメイクの仕上がりのチェックができる。ドレッサー三面鏡棚下灯は、ランプ交換型ダウンライト組み込みLED照明とし、故障時でも容易に交換可能な形態とした。

マルチエントクローク（下足入）下部の棚下灯。ランプ交換型ライトで容易に取り換え可能な形とした。



キレイライト・三面鏡棚下灯



蛍光灯の昼白色と電球色をMIXさせて自然光に近い光を再現する「キレイライト」



独自開発したマルチエントクローク下足棚下灯



■評価項目に関するアピールポイント

<ul style="list-style-type: none"> ・有効性 ・適切性 	<p>共用部照明は太陽光発電（9.9Kw）により、日中共用照明の電力の一部を賄い約20%電力量を削減する。</p> <p>人感センサー及び自動点滅器による点灯制御の併用、さらにFeu理論により壁面を効果的に照らすなど、照明計画を事前検証し、電力使用量64%、CO2排出量10.379 t-CO₂/年削減を達成させる。</p> <p>専有部のイニシャル設置の照明も全てLEDにより計画。玄関、トイレにおいて人感センサーでの点灯制御を併用し、電力使用量75%、CO2排出量17.163 t-CO₂/年削減を達成させる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン性 ・先進性 ・独自性 ・快適性 	<p>環境の変化を体感できる省CO2マンションに相応しいエントランスホールとした。ミスト散布設備のある中庭からの空気の流れに呼応した天井のドット照明とコープ照明、温度によって色が変わる中庭照明を計画。また、ガリレオの温度計が入ったショーケースや船舶用温湿度計・バロメーター等、環境への関心を自然に意識づけられるようにデザインされた空間と一体的な照明計画を演出した。</p> <p>住戸リビングルームにおいても飾り棚を効果的に照らし寛げる空間を提案した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・再現可能性 ・地域貢献度 ・自立性 	<p>三面鏡棚下灯、下足入棚下灯は器具や家具加工とも安価なものとしており、他プロジェクトへの波及性、普及性は十分に考えられる。</p> <p>外構の透かし煉瓦照明は道路面をほのかに照らし、通行者へのあたたかみのある、あかりを提供している。</p> <p>グリーンカーテンや可動ルーバー等の外観や、前面歩道面の太陽光発電量表示パネルなど共用部の各所にも、環境配慮を意識づけるデザインを取り入れ、地域への省エネのPRとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・実用性 ・経済性 	<p>住戸内の照明はランプ交換式のLEDとすることで、故障や破損等不測の事態にも容易に交換可能な形としており、またイニシャルコストも抑えられている。</p> <p>住戸内は電気代で75%、メンテナンスコストで80%の削減が可能であり、共用部も電気代64%削減され、経済性は非常に高い。</p>
<p>その他 (継続性 他)</p>	<p>当プロジェクトは国土交通省平成22年度住宅・建築物省CO2先導事業に採択された。</p> <p>各住戸のエネルギーの見える化、独自の省エネポイント制度の運用で、エネルギーに対する入居者の意識付けを行い、さらなる省エネルギーを目指している。</p> <p>また、エントランスホールにも「エコギャラリー」として、省CO2住宅の技術をLEDディスプレイで紹介。住まう人、訪れる人の環境への「気づき」を提供できる場を整えた。</p> <p>分譲マンションとして入居者だけでなく、モデルルームでも省CO2体感コーナーを設置し、LEDのみならず省エネへの意識付けを、契約者の数倍と言われる来場者にPRした。</p>

■竣工写真（外観）



◆ このニュースリリースに関するお問い合わせ先 ◆
株式会社大京 広報・IR室（伊奈・丸山） TEL：03-3475-3802